

1. 「地域密着型金融推進」の基本方針

当行は、中小企業等への金融の円滑化を通じ、地域経済の活性化に貢献することが、地域密着型金融の本来のあり方と認識しております。

この考えのもと、第3次中期経営計画「し・ん・か」(平成20年度～22年度)では、「サポート機関との連携強化と品質の高い金融サービスの提供により、地域経済の活性化に貢献する」ことを地域密着型金融の推進にかかる基本方針として定めました。

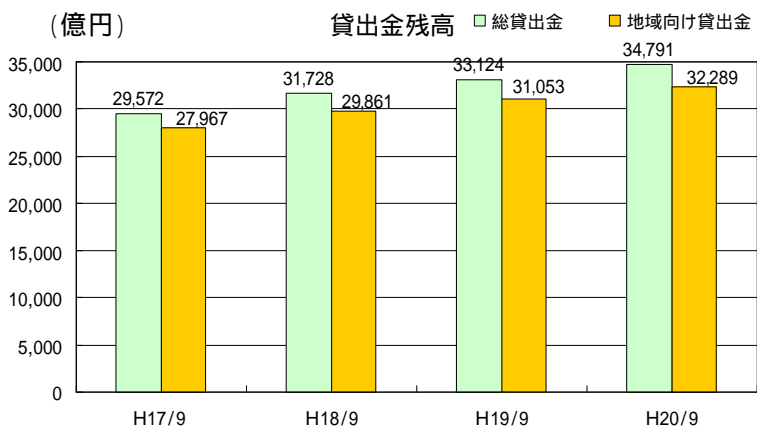
また、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」、「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」、「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」への取組みを中期経営計画の重点施策として盛り込み、中小企業等への積極的な貸出金の推進や経営改善支援等に取り組んでおります。

地域の定義

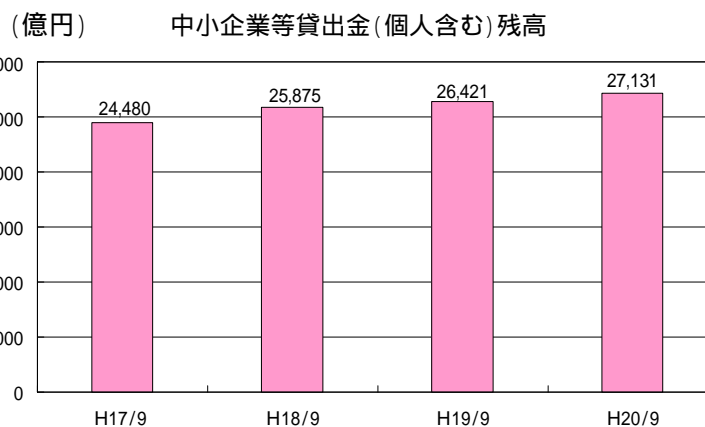
京都銀行は、本店を置く京都府とそれに隣接する滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県の二府三県において、地域に密着した営業を展開しております。当行の地域向け計数につきましては、京都府、滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県内各店舗の合計で開示しております。

2. 中小企業等への金融円滑化に向けた取組み状況

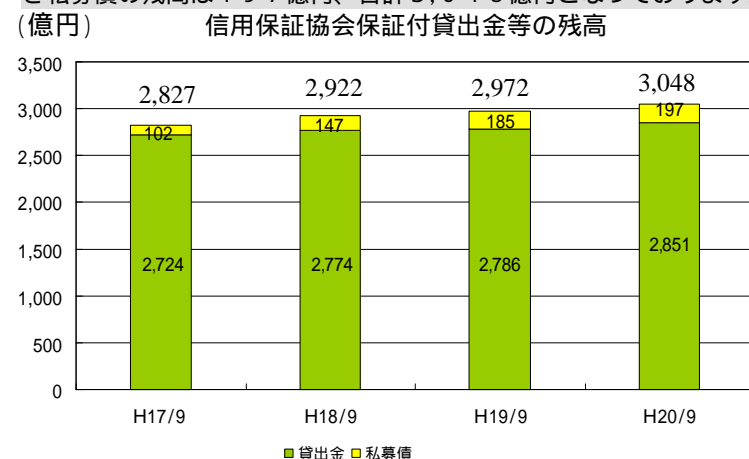
総貸出金の残高は34,791億円となり、着実に拡大を続けております。



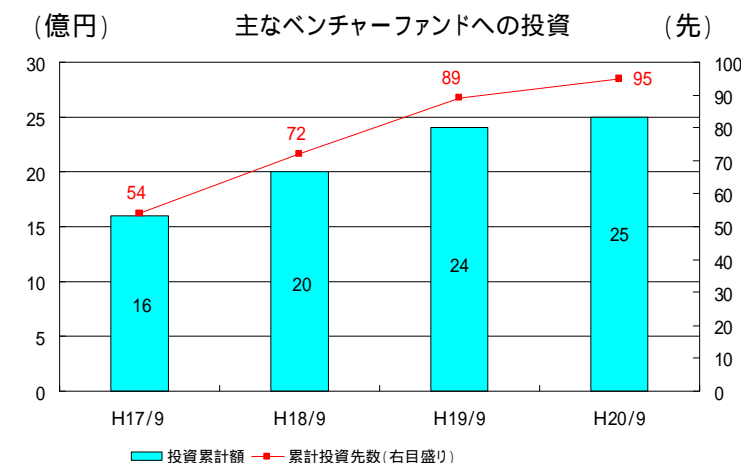
中小企業等に対する円滑な資金供給に努めております。



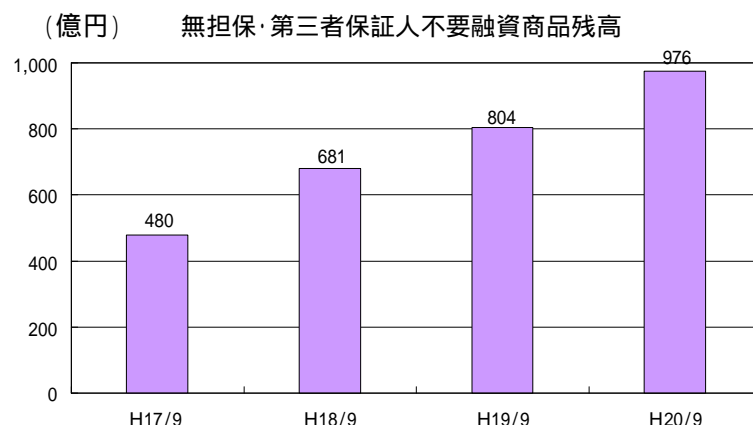
信用保証協会保証付の貸出金は2,851億円、信用保証協会保証付き私募債の残高は197億円、合計3,048億円となっております。



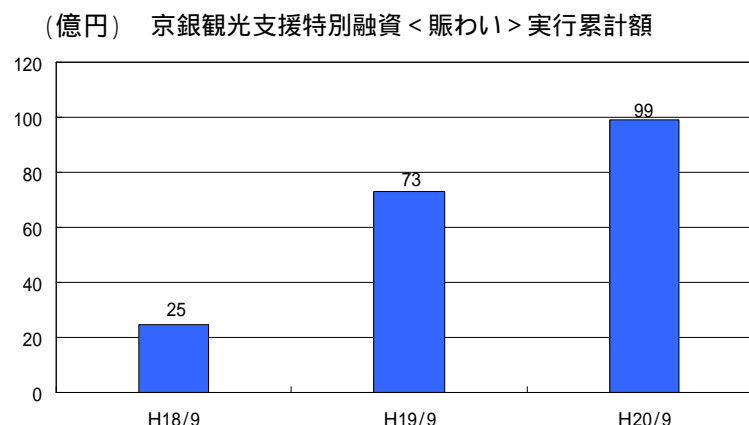
ベンチャーファンドを通じ、創業・新事業支援に積極的に取り組んでおります。



融資商品の品揃えの充実をはかることにより、担保・保証に過度に依存しない融資の推進に努めております。



観光産業、京都ブランド企業の支援等を通じ、地域経済の活性化に取り組んでおります。



3. 平成20年度上期の主な取組み

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

ア. 創業・新事業支援

- ✓ 大学や専門家等との連携組織「京銀生き生きベンチャー支援ネットワーク」を活用し、資金面にとどまらない事業のサポートを実施しております。7月に「ベンチャー支援ネットワーク第7回会合」を開催し、ベンチャー企業の課題把握や解決支援を行ないました。
- ✓ 地元同志社大学ベンチャーファンドへの出資(1億円)等、産学連携の強化によるベンチャー企業取引の推進を行なっております。

イ. 経営改善支援

- ✓ 自社の現状把握、経営者の意識改革を目的とした個別経営相談会を本店にて定例開催しております。また、京都府北部地域での開催や特定の業種を対象とした相談会を開催するなど、開催地域、対象先の拡大を図っております。
- ✓ M & A情報を活用したコンサル型営業の展開により、取引先の事業展開・事業承継ニーズに対応しております。M & Aの成約事例では、買収側のアドバイザーを単独で務めるなど、着実に成果をあげております。

ウ. 事業再生

- ✓ 「中小企業再生支援融資制度」を積極的に活用し、取引先の与信構成の是正、返済負担の見直し等を実施しました。あわせて、金融機関の協調支援体制の構築等を通じて、地域での外部機関との連携を強化しております。
- ✓ 「きょうと企業再生支援ファンド」を活用し、地域の中核企業に対する、早期再生支援を実施しました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

ア. 目利き機能の向上

- ✓ 業種に精通した金融人材の育成を目的として、「業種別専門家育成研究会」を創設しました。先端技術(バイオ・ナノテク・IT)、電子部品・機械金属、医療・福祉等の10業種に対し、総勢50名(うち営業店25名/半期毎募集)により業種別研究を開始しました。企業・見本市の見学や大学等の専門家を招いての講義等を通じて、業界知識の吸収に努めております。

イ. 多様な手法を用いた資金供給

- ✓ 信用保証協会の保証制度である「流動資産担保融資保証制度(ABL)」を活用し、酒造業者に対して「日本酒等」を担保にした融資枠の設定を行ないました。当事例では、当行が提携する外部評価専門会社を活用することにより、簿価の70%の動産評価を受けることができたため、企業の資金調達力の強化をはかることができました。
当行では、新しい融資手法に積極的に取組むことにより、資金調達の円滑化、多様化に対応しております。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

ア. 観光産業の活性化を通じた地域経済への貢献

- ✓ 阪神エリアの新設店で、京都の魅力を幅広く紹介することを目的としたロビーアクション(祇園祭・源氏物語千年紀)を実施し、好評を得ております。
- ✓ 観光産業・京都ブランド企業の活性化を目的に「京銀観光支援特別融資<賑わい>」を積極的に推進しております。商品販売開始以降の取扱累計は266件/99億円(20年9月末時点)となっております。

イ. 環境保護への取組みによる地域貢献活動

- ✓ 環境保護への取組みを更に充実させるために「環境委員会」の上部機関として「環境会議」を設置しました。また、当行では「環境方針」および「環境方針行動指針」を制定しておりますが、より具体的な行動計画として、「第一次環境プラン」(平成20年度～平成24年度)および「平成20年度・21年度環境プログラム」を策定し、全役職員挙げて環境問題に取り組んでおります。
- ✓ 全国の地方銀行8行により「日本の森を守る地方銀行有志の会」を設立し、ノウハウ・情報の蓄積に努めております。

4. 具体的な取組み内容

項目	平成20年度上期(4月～9月)実績	
	具体的な取組み内容	主な計数
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援	ベンチャーファンド投資の推進 「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」を活用した投資先・取引先支援 ・第7回会合を開催 (独)中小企業基盤整備機構近畿支部, 京都商工会議所, (株)大阪証券取引所が主催する「IPO京都塾2008」に、パネラーとして参加 「同志社ベンチャーファンド」へ出資(1億円)	【創業・新事業支援融資実行額】 ・15件 / 125百万円 【投資実績】 ・1先 / 30百万円
(2) 経営改善支援	取引先とのリレーション強化による経営悪化兆候の早期発見、早期対応 ・「ランクアップ工程表兼モニタリング管理表」を活用し、本部・営業店が一体となってモニタリング管理を実施	【経営改善支援取組み率】 ・3.00% 経営改善支援取組み先数(正常先除く)237先 / 期初債務者数(正常先除く)7,900先 【債務者区分ランクアップ率】 ・4.22% ランクアップ先数(正常先除く)10先 / 経営改善支援取組み先数(正常先除く)237先
	自社の現状把握および経営者の意識改革への支援 ・個別経営相談会の継続実施と対象範囲の拡大 ・【個別経営相談会参加先数 23先】 (うち、特定業種向け相談会 4回開催・4先参加) (うち京都府北部地域での相談会 3回開催・8先参加) 改善計画策定支援 ・中小企業再生支援協議会の活用による計画策定支援 ・改善計画策定支援を目的とした営業店に対する「金曜営業店相談室」を開催	【計画策定先数】 ・39先 【計画策定率】 ・55.70% 再生計画策定先数(正常先除く)132先 / 経営改善支援取組み先数(正常先除く)237先 【再生支援協議会活用実績】 ・4先(累計25先)
	情報の活性化による経営支援の強化 ・H20年4月に本部専担組織として「情報戦略担当」を設置 ・「よろず相談シート」を新規制定し、営業情報を活性化 ビジネスマッチング業務の活性化 M&A情報を活用したコンサル型営業の積極展開 ・当行単独受託を含むM&A2件成約 事業承継セミナー(行員向け)の開催	【ビジネスマッチング成約 47件】 (有償 12件) (無償 35件) 【M&A成約件数 2件】
(3) 事業再生	抜本的企業再生に向けた支援強化 ・中小企業再生支援融資制度の活用による与信構成の是正、金融機関協調支援体制の整備 ・再生ファンドの活用による早期再生支援 再生企業に対する新たな資金供給手法の取組み ・外部の動産鑑定評価を活用して在庫(日本酒等)を担保としたABLの取組み	【中小企業再生支援融資制度実績】 ・実績16先 / 15.5億円 (累計95先 / 112億円) 【再生ファンドの活用実績】 ・1先
(4) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた同時的・一体的な面的再生への取組み	地域の中核企業に対する抜本的な再生支援の取組み強化 ・景況感の悪化が著しい地域の中核企業に対する集中的な再生支援の継続実施 地元金融機関、保証協会等で構成する「京都再生ネットワーク会議」を通じ、面的再生に向けての連携を強化 地域における再生担当者のネットワーク拡大の一環として、中小企業診断士会との連携を強化	

項目	平成20年度上期(4月～9月)実績	
	具体的な取組み内容	主な計数
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1) 目利き機能の向上	<p>業種に精通した金融人材の育成を目的とした「業種別専門家育成研究会」を創設</p> <p>【構成人員：総勢50名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種別専門営業部行員13名、審査部行員11名、その他本部行員1名、営業店行員25名 <p>【業種構成：10業種5グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端技術(バイオ・ナノ・IT)、環境、電子部品・機械金属、医療・福祉、建設・不動産 <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・施設見学...2回、講義...15回、業界見本市視察...2回(5グループの累計) <p>目利き・経営支援等のノウハウ習得を目的とした地銀協派遣研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「法人取引開拓研究講座」...1名 ・「中小企業経営支援講座」...1名 ・「法人向けソリューション営業実践講座」...2名 <p>外部派遣研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業調査講習会」...1名 	
(2) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み、多様な手法を用いた資金供給	<p>無担保第三者保証人不要の融資商品を推進</p> <p>中小企業の資金調達手法の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用保証協会の保証制度「流動資産担保融資保証制度(ABL)」を活用。酒造業者に対して「日本酒等」を担保にし、融資枠を設定(1先/150百万円) ・動産処分、動産評価にかかる業務提携先の拡大検討 ・売掛債権流動化業務の中小企業への推進 	<p>【H20年9月末残高】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・976億円 <p>【動産・債権譲渡担保融資実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22件/791百万円 (うち売掛債権担保融資 20件/693百万円) (うち動産担保融資 2件/98百万円)
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 観光産業の活性化を通じた地域経済への貢献	<p>観光産業・観光関連事業者に対する資金支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・京都ブランド企業向け専用商品「京銀観光支援特別融資<賑わい>」による資金支援 <p>観光産業活性化に資する当行独自の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源氏物語千年紀、丹後天橋立大江山国定公園等を題材にした展示内容にリニューアルし、「京都観光写真展」を継続開催(86カ店) ・阪神エリアの新設店を中心に祇園祭ロビーアクション、源氏物語千年紀ロビーアクションを実施(7カ店) ・「京銀ビジョン」による観光情報の放映(17種類放映) 	<p>【京銀観光支援特別融資実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35先/11.3億円 (累計266件/99億円)
(2) 地域に対する金融経済教育の取組み	<p>資産運用セミナー開催による顧客の裾野拡大と情報提供サービスの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・190回開催、4,768名参加 <p>京都市学生シティ事業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・擬似店舗の出店およびボランティア行員の派遣 <p>京都府、大阪府に続いて、滋賀、奈良、兵庫の3県で「子育て応援事業」に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育ローン金利を年1.0%優遇 	

「地域密着型金融」の取組み状況(平成20年4月～9月)

項目	平成20年度上期(4月～9月)実績	
	具体的な取組み内容	主な計数
(3) 環境保護への取組みによる地域貢献活動	<p>環境への取組みを更に充実させるために「環境委員会」の上部機関として「環境会議」を設置 「第一次環境プラン」(平成20～24年度)、「平成20年度・21年度環境プログラム」策定 金融支援を通じて環境問題への取組み促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方銀行による「グリーン電力証書」の共同購入(「地銀住宅ローン共同研究会」企画) <p>「京都モデルフォレスト協会」の「森林づくり基金」に対する寄付決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙類購入代金およびエコ関連商品の取扱高により寄付金額を算出 <p>近畿経済産業局と連携した「環境ビジネスセミナー」の開催</p> <p>環境にやさしい店舗づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本店4階テラスにて屋上緑化を実施 ・木津支店・新築移転店舗は屋上緑化に加え、省エネタイプの空調機器を選定 <p>○森林保護への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都モデルフォレスト協会の活動への積極参加 ・「京銀ふるさとの森」の維持管理(除草作業を実施) ・地銀8行により「日本の森を守る地方銀行有志の会」設立 	<p>【事業先向け環境融資等の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコ・ローン6件/1.9億円 ・エコ・私募債6件/8.9億円 <p>(取扱累計)</p> <p>(エコ・ローン 106件/71億円)</p> <p>(エコ・私募債 44件/64億円)</p>
4. 利用者からの評価を適切に反映するための態勢整備		
	<p>お客さまのニーズ・情報収集のための全社的システムである「お客様の声報告」システムの稼働開始による情報蓄積ならびに分析の開始</p>	

以上